

HIGASHIKU MACHIZUKURI AWARD 2025

＼ 東区まちづくりアワード /

ノミネート取組事例集

投票期間：令和8年（2026年）3月1日（日）～3月31日（火）



事例集に添付の投票用紙または、
オンラインでも投票できます



熊本市東区役所

目的

東区で実施している地域と企業のマッチング事業「地域力パワーアップ大作戦（以下、地域力PU大作戦）」では、多くの取組が実現しています。その取組にスポットを当て、地域と企業の連携をさらに広げていくため、東区まちづくりアワードを開催します！



プロセス

エントリー

投票

まちのチカラ賞
(アワード5選)

グラン・ド・^{えん}縁賞
(最優秀賞)

たくさんのエントリー、
ありがとうございました！

フォームもしくは
応募用紙でエントリー

※応募用紙での提出の場合、
東区総務企画課に郵送またはFAX

投票

5事例を表彰

5事例の中から
最優秀賞を表彰

投票の方法

投票

フォームの場合
投票フォーム

事例を選択

投票完了

投票用紙または
二次元コードの読込

投票フォームに
移動

1事例を選ぶ

投票完了
※投票用紙での投票は、
下記問合せ先に郵送かFAX

【結果発表】

投票結果は、令和8年(2026年)5月に開催予定の表彰式で発表。
表彰プレゼンターは熊本市長の予定です。

問合せ先

〒862-8555 熊本市東区東本町16-30
熊本市東区役所総務企画課
電話 (096)367-9121
FAX (096)367-9301



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	1
----------	---

エントリー者	尾ノ上校区民生委員児童委員協議会 今村富美恵 様
--------	--------------------------

取組事例名称	尾ノ上校区民児協研修
--------	------------

連携団体名称	セントケア九州（株）看護小規模くまもと

事例概要	民児協定例会時に、セントケア九州の職員さんを講師に招き、「介護保険について」等、3回継続してテーマ別に研修を行い、質の向上を図ると共に福祉事業所と連携をし、地域のネットワークを強化した
------	--



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 2

エントリー者 熊本市高齢者支援センターささえりあ尾ノ上 折田 安正 様

取組事例名称 【地域住民の「気づき」につながる転倒骨折予防～多職種・地域協働の安全なまちづくり：車止めからの第一歩として～】

連携団体名称 株式会社住商産業
各校区の民生委員、地域住民
地域の事業所の方

事例概要 ささえりあに寄せられる相談で、車止めにつまづいて転倒骨折をしてしまった高齢者の事案が続きました。足腰の不安定だけでなく、加齢により視力低下も進む中で道路と同系色の車止めを識別しにくくなることが要因と感じていました。地域への転倒骨折予防啓発活動として地域力パワーアップ大作戦で車止めの色を見やすい色に変える活動の提案をしたところ、建設会社の住商産業株式会社様より塗料の無償提供のお申し出を頂きました。同じグループで参加した方々からは「色塗りだったら手伝えるかも」と言ったご意見を頂き話は盛り上がり、パワーアップ大作戦の会場である東部まちづくりセンターの車止めの色塗りを皮切りに東区各まちづくりセンター、高齢者施設、郵便局等5カ所の施設の車止め色塗り活動を実現しました。住商産業様には塗料提供だけにとどまらず色塗りの手順についてもご指導協力を毎回頂いております。また毎回、その施設周辺の地域住民、事業所の方々にも協力していただき、「転倒骨折予防の意識」を色塗り活動を通して共有する機会にもなっています。今後もすべての世代の方が安心して外出が行える環境づくりに向けて活動を続けていきたいと考えています。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 3

エントリー者 ペンぎんマーケット委員会 天野 きみ子 様

取組事例名称 イベントを通じて地域社会の発展に貢献

連携団体名称
熊本市
熊本市社会福祉協議会
熊本県立大学
熊本学園大学
株式会社家族葬のファミリー

事例概要
約3年前に立ち上げた「ペンぎんマーケット」は年6回奇数月に家族葬のファミリー尾ノ上ホールで開催しており、運営費は協賛店舗様からの支援でまかない、毎回多くの子供から大人までが集う、楽しい交流の場となっています。マーケット内では、様々な飲食店はもとより、熊本県立大学のボランティアグループ「豆乳ヨーグルト」様によるeスポーツや「さくらもち」様による児童向けワークショップ、熊本学園大学 MOKEI 部様によるプラモ教室等、他のイベントではなかなか体験できない活動を通じて、地域社会の発展に貢献しています。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 4

エントリー者 尾ノ上校区防災クラブ 惠濃 善郎 様

取組事例名称 錦ヶ丘公園イルミナイト

連携団体名称 日本郵政グループ労働組合 熊本東部支部
尾ノ上校区防災クラブ

事例概要
限られた地域の人員で設営し運営していた中、パワーアップ大作戦で協力いただける企業さんを募ったところ、日本郵政労組東部支部さんが心よく受け付けてくれました。郵政さんからも、近くでこんな素敵なイベントをしていたことを知れてよかったとも言ってもらい、これまで、ツリーへのイルミ付けはもちろん、イベント受付やブース出店もしてもらっています。そんななか、迷子の対応もしてくれ、なくてはならない存在です。今年度も協力いただき、すでに4年間続いております。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 5

エントリー者 まるみつ東バイパス店 杉本将人 様

取組事例名称 健康パチンコ体験会

連携団体名称
西原校区自治協議会
ささえりあ託麻
ささえりあ保田窪
CHOICE 熊本
東区保健子ども課・託麻まちづくりセンター

事例概要
まるみつ東バイパス店にて、健康パチンコ体験会を実施しました。パチンコは、認知症予防になると言われております。
そこで、地域の方・デイケアの方向けに実施する事になりました。
パチンコだけでなく、多くの企業様にお手伝いいただきました。
ブースとしましては、
・生活便利グッズ体験会
・整体体験
・ハンドマッサージ体験
・脳トレブース
上記のブースを準備しました。
今後はブースの拡大を視野に入れて、実施する予定で御座います。

取組の様子

2025.11.6 第3回健康パチンコ体験会

まるみつ×西原校区自治協×ささえりあ託麻×ささえりあ保田窪×CHOICE熊本×東区まちセン

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 6

エントリー者 明治安田 健軍営業所 倉本 邦彦 様

取組事例名称 東区民まつりにて
献血の呼びかけと「東区健康増進かるた」に関するアンケート実施

連携団体名称 健軍商店街振興組合 東区民まつり実行委員会
熊本県赤十字血液センター
熊本市東区役所 保健福祉部 保健こども課 東区健康まちづくり推進員協議会
熊本県立大学 総合管理学部 松本ゼミ
明治安田 健軍営業所

事例概要

- ・今年度から、健軍商店街で開催されるイベントの際には毎回（土日・祝日は会社が休みで駐車場が空いているため）（明治安田）職員駐車をイベント出店業者のみなさまに利用していただいております。（30～40台）
- ・東区民まつり実行委員会と熊本県赤十字血液センターにお願いして、献血バスを招致。事前に日赤の職員さんと（明治安田）職員とで、健軍商店街および周辺の10企業・団体に献血協力の呼びかけをし、啓発ポスターを掲示していただきました。
- ・日々の営業活動で面談するお客さまには、区民まつりのチラシと献血のチラシを配布して、献血への協力を依頼しました。
- ・まつり当日は（明治安田）職員約30名がまつり関係者や参加者に献血の呼びかけをしました。結果、職員も含め57名に献血に協力していただきました。

（※注 実際に献血できたのは43名）

- ・献血バスの前では「血管年齢測定会」を開催しました。
- ・日赤の職員さんからは「住民のみなさんに献血の意義を改めて周知・啓発できるいい機会になった。」と言っていただきました。
- ・「東区健康まちづくり推進員協議会」「熊本県立大学 総合管理学部 松本ゼミ」「東区保健こども課」が協働で作成した「東区健康増進かるた」の体験ブースでは、「健康に関する意識調査」「東区健康増進かるたに対する感想」のアンケート調査に（明治安田）職員も協力しました。東区民の健康に関する実態が明らかになり、区役所の職員さんやゼミの学生さんに「明治安田の職員さんのお手伝いがとてもありがたかった。」という感想をいただき、微力ながら貢献できてよかったです。
- ・（明治安田が）実行委員会にあらかじめお願いして人工芝エリアを確保していただいていたので、東区健康まちづくり推進員協議会の「足趾力測定」と県立大学松本ゼミの「東区健康増進かるた体験」ともに人工芝の上で実施でき、やりやすかったとの感想もいただきました。
- ・東区民まつりは「健康」をテーマとしたブースが多く出展しており、今後も明治安田が取り組んでいる「みんなの健活プロジェクト」「地元の元気プロジェクト」の2つの活動を通じて、東区民の健康づくり、健軍商店街をはじめとする東区地域のより一層の活性化に貢献していきたいです。

取組の様子



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	7
----------	---

エントリー者	株式会社サンワイテック 岡田 稜央 様
--------	---------------------

取組事例名称	こども食堂
--------	-------

連携団体名称	株式会社サンワイテック
	秋津4町内自治会

事例概要	<p>子ども食堂の開催。地域との共創共生。事業を行う地域の文化や習慣を尊重し、事業活動等を通じて地域社会の持続的な発展貢献するよう努める。 安心安全な地域の居場所づくり、地域福祉の中核拠点のひとつとなることを目指す。</p>
------	--



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 8

エントリー者 株式会社サンワイーテック 岡田 稜央 様

取組事例名称 サンワイーテックマルシェ

連携団体名称
株式会社サンワイーテック
キッチンカー まきさんキッチン
キッチンカー ヒロカフェ
ミタカフーズ
キッチンカー UMASO

事例概要
地域との共創共生。事業を行う地域の文化や習慣を尊重し、事業活動等を通じて地域社会の持続的な発展貢献するよう努める。サンワイーテックの認知度を高めるため。地域に貢献し地域になくってはならない存在を確立していくため。
キッチンカーを誘致し、テナーサックス・フルートの演奏会を実施。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	9
----------	---

エントリー者	一般社団法人 熊本県地質調査業協会 川元雄一朗 様
--------	---------------------------

取組事例名称	第25回健軍川清掃奉仕活動
--------	---------------

連携団体名称	尾ノ上校区8町内自治会
	尾ノ上校区9町内自治会

事例概要	<p>熊本県地質調査業協会は、県内の地質調査を専門的に行う会社の集まりで、地質調査技術の進歩改善とともに社会貢献や地域貢献に寄与することを目的とした団体です。一般的に、「地質調査」といっても、家を建てる時や異常気候による大規模災害でがけ崩れや道路の崩壊の時、「地質調査」の活字が新聞紙上に掲載される限りで、一般には触れあう機会が少ない業種です。その中で、地域の皆さんに協会を知ってもらうことと地域貢献の行事として始めたのが、当協会の事務所横を流れる健軍川の清掃ボランティアです。</p> <p>平成12年度から始めて25回目を迎えています。始めた当時は健軍川には自転車や電化製品などが河床に埋もれ多くのゴミが散在する状況でした。回を重ねるごとに大型ゴミの数は減少し、市民の環境への意識の変化と共に年々川はきれいになりました。また、健軍川河床に降りて清掃活動をしていると地域の方々から「ありがとう」「ごくろうさま」の声をかけて頂き励みとなりました。地元の皆さんも参加頂けたらとの意見があった中、地元に住んでいる当協会理事から熊本市の地域力パワーアップ大作戦の情報があり、早速、この大作戦に参加を申し込んだところ、尾ノ上校区8町内の町内会会長様と繋がりこの大作戦が始まったところです。</p> <p>今年から、尾ノ上校区9町内の方々も参加されるようになり、更に清掃活動を通じて当協会と地域との絆が築かれ、また、地域愛がより一層深まりました。何より、住んでいる街がきれいになると幸せな気分になります。今後も清掃活動を継続し地域との絆を深めていこうと思います。</p>
------	--



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 10

エントリー者 東区健康まちづくり推進員協議会 渡邊信子 様

取組事例名称 本屋さんで健康づくり

連携団体名称
TSUTAYA さくらの森店
明治安田
熊本県立大学総合管理学部 松本ゼミ

事例概要
コロナ禍で推進員の活動が停滞しており活動の場を探していたところ、地域力パワーアップ大作戦で TSUTAYA さくらの森店の場所を借りられるようになり、令和5年度は足趾力測定や握力測定、跳躍、前屈等の体力測定を行いました。買い物に訪れたお客様が気軽に参加でき、推進員のモチベーションアップにもつながりました。
令和6年度は更につながりを広げ、明治安田、熊本県立大学とも連携し、癌検診の受診勧奨、飲み物の砂糖含有量の説明、ベジチェック、健増カルタ等の健康啓発を行いました。本屋さんという場所には、子供から高齢者まで健康に関心がある人もない人も来られるので、今までより幅広いターゲットに健康について考えるきっかけづくりをすることができました。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	11
----------	----

エントリー者	株式会社家族葬のファミリー 山本 竜生 様
--------	-----------------------

取組事例名称	<ol style="list-style-type: none">1. 尾ノ上校区ぺんぎんマーケット ファミリー尾ノ上ホールを校区のお祭り会場として提供2. 秋津校区敬老の日参加賞プレゼント3. 健軍社会福祉協議会主催で地域の高齢者向け健康マッサージをマッサージ店ワンネス、ファミリー神水斎場で開催4. 陽だまりの樹主催の子ども食堂クリスマスパーティをファミリー尾ノ上で開催5. ささえりあ主催のケアマネージャー向け認知症講演会をファミリー長嶺西で開催6. 動物愛護団体主催の保護ネコ譲渡会の会場提供ファミリー尾ノ上
--------	--

連携団体名称	尾ノ上校区自治会 熊本市社会福祉協議会 熊本県立大学西森ゼミ 熊本学園大学
	秋津校区自治会
	健軍校区社会福祉協議会 ワンネス
	NPO 陽だまりの樹 ささえりあ保田窪

事例概要	<ol style="list-style-type: none">1. 公園の無い校区で地域の多世代交流の場を作りたいという自治会長の想いを受け、式場と駐車場をお祭りの会場として実施。キッチンカーやくじ引き、認知症予防のイベントとして熊本市社会福祉協議会と熊本県立大学のボランティアゼミ生がeスポーツを高齢者向けに講習。多世代交流を実現できた。2. 毎年敬老の日秋津自治会長から参加賞の要望を受け、200人分のプレゼントを提供。3. 気軽にマッサージで健康寿命を維持できるようにと社会福祉協議会主催で健康マッサージ体験会を開催。4. 子ども食堂を運営するNPO陽だまりの樹が100名超えの子どもが集まるクリスマス会の会場に苦心されていたので、ファミリー尾ノ上を提供。5. ささえりあ主催の講演会を東区のファミリーホールを中心に定期開催。6. 野良猫などを保護された団体による譲渡会を月1回ずつ開催。
------	---



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 12

エントリー者 平山ハートクリニック 蓑田 孝敏 様

取組事例名称 東区地域健康啓発セミナーの開催

連携団体名称	ささえりあ 尾ノ上
	ささえりあ 託麻
	ささえりあ あさひば

事例概要	<p>地域の高齢者支援センター「ささえりあ」から紹介いただいた近隣の高齢者並びに地域の皆さんに対して、平山ハートクリニックが もっている介護予防・病気予防の情報を皆さんに提供して、地域の高齢者及びその家族が喜んでいただけるような啓発活動をスタートすることができた。</p> <p>▽平山ハートクリニックの思いとして</p> <p>法人の理念として地域の高齢者が、最後まで住み慣れた地域で、家族とともに安心して暮らせるための環境づくりを積極的にサポートしていくことを目指している。そのために、法人が持っている人材、情報をもっと地域のために無償で紹介できるような機会を探していた。</p> <p>▽高齢者支援センター「ささえりあ」の思いとして</p> <p>「ささえりあ」の役割の中で、介護予防支援があるが、それぞれの地域の集いの場で介護予防として専門家による講話や運動指導を直接実施してもらえるような機会が少ないのが実態である。</p> <p>この平山ハートクリニックと「ささえりあ」との令和7年度地域パワーアップ大作戦の活動によるマッチングによって、双方の思いが一致し、3カ所の「ささえりあ」から地域団体の紹介を受け、そこに平山ハートクリニックの人材を提供することで、双方の思いが実現できた。その結果、地域の高齢者に対して、有意義な情報を提供することができ、参加いただいた地域の皆さんに喜んでいただける活動となった。</p> <p>最終的には、7カ所で、医師と言語聴覚士が中心になって、セミナー及び口腔体操の提供を実施することができた。</p> <p>以下、実際に活動させていただいた内容を紹介する。</p> <p>▼ささえりあ託麻</p> <p>①5/27 (火) 老人会 嚥嚥防止体操 約20名参加</p> <p>②8/19 (火) 老人会 嚥嚥性肺炎及び口腔体操 約10名参加</p> <p>③9/8 (火) 老人会 嚥嚥性肺炎及び口腔体操 約10名参加</p> <p>▼ささえりあ尾ノ上</p>
------	---

④5/19 (月) 友愛会 認知症及び口腔体操 約15名参加

⑤8/21 (木) ケアマネ対象 笑いと健康 約50名参加

⑥12/15 (月) 介護者家族 笑いと健康 約19名参加


▼ささえりああさひば

⑦6/23 (月) 老人会 誤嚥性肺炎及び口腔体操 約7名参加

今後も、もっといろいろな団体を通じて、セミナーや運動等を通じて介護予防、病気予防の啓発を行いながら、ひとりでも多くの地域高齢者が、最後まで元気に家族と一緒に住み慣れた地域で生活できるようサポートを継続していきたい。

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	13
エントリー者	主任児童委員東区ブロック 川崎 由紀子 様
取組事例名称	セレモニーホールで合同子育てサークル
連携団体名称	株式会社 家族葬のファミリー まるみつ 東バイパス店
事例概要	<p>ファミリーさんのホールは、各校区の身近なところにあり、駐車スペースも確保できるうえに床が柔らかく、乳幼児と保護者が集う会場にピッタリな環境です。いつも借りている公設公民館が借りられず困っていたところ、快く会場を貸していただきました。これまでに、子育て講話やフラダンス、リトミック体操など、東区合同子育てサークルを3回開催しました。子育てサークルだけでなく、打合せ会場としても複数回貸していただき、地域になくてはならない企業だと感じています。</p> <p>子育てサークルに参加された方へのお土産には、まるみつ東バイパス店さんからいただいたお菓子を詰め合わせにしてお渡ししていて、毎回「たくさん入っていて嬉しい!」と大好評です。東区だけでなく、市内全域を対象に行った主任児童委員30周年記念イベントや、南区全区サークル交流会にも提供いただき大変助かりました。</p> <p>具体的な計画は今からですが、来年度も合同サークル等で貸していただきたいと思っています。今後も、地域の子育て応援団のパワーアップが楽しみです。</p>
取組の様子	



ノミネートNo. 14

エントリー者 山ノ内小学校家庭教育学級 川崎 由紀子 様

取組事例名称 廃材で理想のスライド本棚を作ろう！

連携団体名称
ダイワハウス

事例概要
山ノ内小学校の家庭教育学級は、コロナ禍で数年間活動ができていませんでした。いよいよ活動復活！というときに、パワーアップ大作戦でダイワハウスさんのお話を聞き、ぜひ一緒に活動したいと取組につながりました。ダイワハウスさんが家を作る時に出た廃材と、大工さんの技術を拝借し、親子で出来る木工教室を開催することになりました。令和5年は椅子、6年は机、7年はスライド本棚を作成。本格的な家具作りを親子で体験することができるので、大人気の活動です。3年間継続して一緒に活動できていることも嬉しく感じています。参加した子どもからは「自分の思いを込めて、考えて作ることができて楽しかった」と、ものづくりの楽しさに気づいてくれた感想も。将来の職人育成にも寄与しているのではないかと思います。今後も長くこの取組を続けていきたいです。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 15

エントリー者 画図校区社会福祉協議会 杉本 泰介 様

取組事例名称 江津湖ウォークラリー大会 (2024・2025)

連携団体名称 ささえりあ江津湖
熊本市障がい者相談支援センターきらり
おれんじ村 (くまもと障害者労働センター)
明治安田
東区保健こども課

事例概要 画図校区にお住まいの原則 65 歳以上の方を対象に、健康づくりと地域交流を目的としたウォークラリー大会を、ささえりあ江津湖のご協力のもと開催しました。コースは、下江津湖周辺を 1 周する約 1 時間コースと、広木公園内を 1 周する約 30 分コースの 2 種類を設定し、参加者の体力に合わせて選べるようにしました。

当日は、東区保健こども課による健康ブースや、熊本市障がい者相談支援センターきらりとおれんじ村 (くまもと障害者労働センター) によるコーヒー&お菓子の販売に加え、2024 年度には明治安田による血管年齢測定・ベジチェックの体験ブースが、2025 年度には福祉事業所による福祉用具や日用品の便利グッズ紹介ブースが登場し、年ごとに特色ある内容となりました。

参加者の皆さんは、美しい自然の景色を楽しみながら、笑顔で健康づくりに取り組み、地域のつながりを深める素敵なお日となりました。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



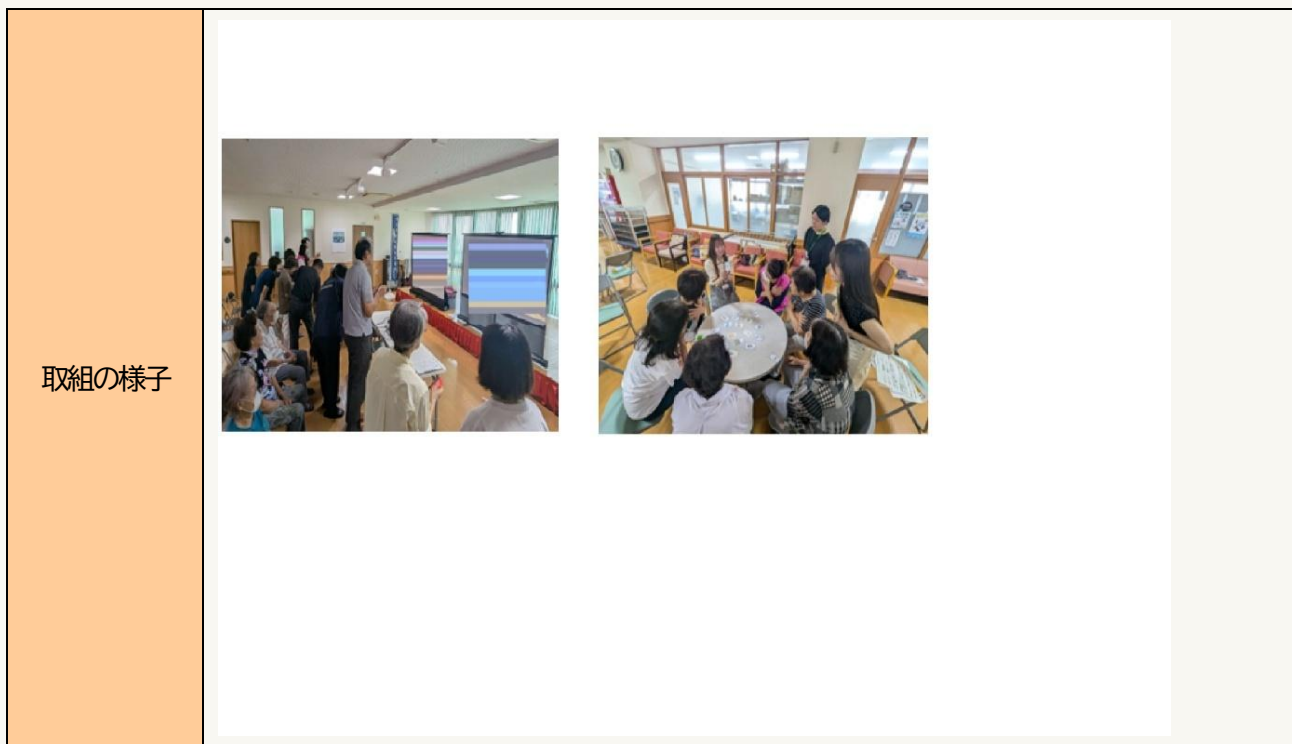
ノミネートNo. 16

エントリー者 画図校区社会福祉協議会 杉本 泰介 様

取組事例名称 ふれあいデイサービス

連携団体名称
熊本県立大学 総合管理学部 西森ゼミ (豆乳ヨーグルト)
熊本県立大学 総合管理学部 松本ゼミ
ささえりあ江津湖
熊本市社会福祉協議会 東区事務所

事例概要
江津しょうぶ苑にて画図校区「ふれあいデイサービス」がコロナ禍を経て、6年ぶりに開催。この取組は、高齢者が元気に集まり、地域のつながりを深めるふれあいの場として親しまれてきたもの。
今回は、熊本県立大学 総合管理学部 西森ゼミ (豆乳ヨーグルト) と熊本県立大学 総合管理学部 松本ゼミをはじめ、ささえりあ江津湖、熊本市社会福祉協議会東区事務所など関係団体の方々にご協力いただき、地域の高齢者と一緒にeスポーツやケンゾウかるた (健康増進をテーマにしたオリジナルかるた) を楽しんだ。※ゲームメーカーの著作権の関係でゲーム画面にモザイク処理をしています。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	17
エントリー者	明治安田 健軍営業所 倉本 邦彦 様
取組事例名称	あさひばスマイルオレンジフェスタ
連携団体名称	ささえりあ あさひば あさひばスマイルオレンジフェスタ実行委員会
事例概要	<ul style="list-style-type: none">・「ささえりあ あさひば」の職員のみなさんとは「地域力パワーアップ大作戦」での出会いをきっかけに、その後の交流を重ねた結果、あひばスマイルオレンジフェスタでの「ベジチェック」の実施へとつながりました。・「ささえりあ あさひば」さんの管轄エリアと明治安田 健軍営業所の管轄エリアが重なるので、そのエリアの担当者は「ささえりあ あさひば」さんが発行している地域向けのニュースを日々の営業活動で配布し、微力ながらPRに協力させていただいています。・今後もコミュニティセンターなどでのセミナーや健康チェックイベントを通じて、住民のみなさんの健康増進と地域の活性化に協力していければと思っています。
取組の様子	

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	18
----------	----

エントリー者	明治安田 健軍営業所 倉本 邦彦 様
--------	--------------------

取組事例名称	ライフプラン・エンディングノートセミナー
--------	----------------------

連携団体名称	ささえりあ あさひば

事例概要	「ささえりあ あさひば」の職員のみなさんとは「地域カパワーアップ大作戦」での出会いをきっかけに、その後の交流を重ねた結果、「秋津レークタウン公民館」と「東部はつらつ交流会館」での「ライフプラン・エンディングノートセミナー」の開催するはこびとなりました。
------	--

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



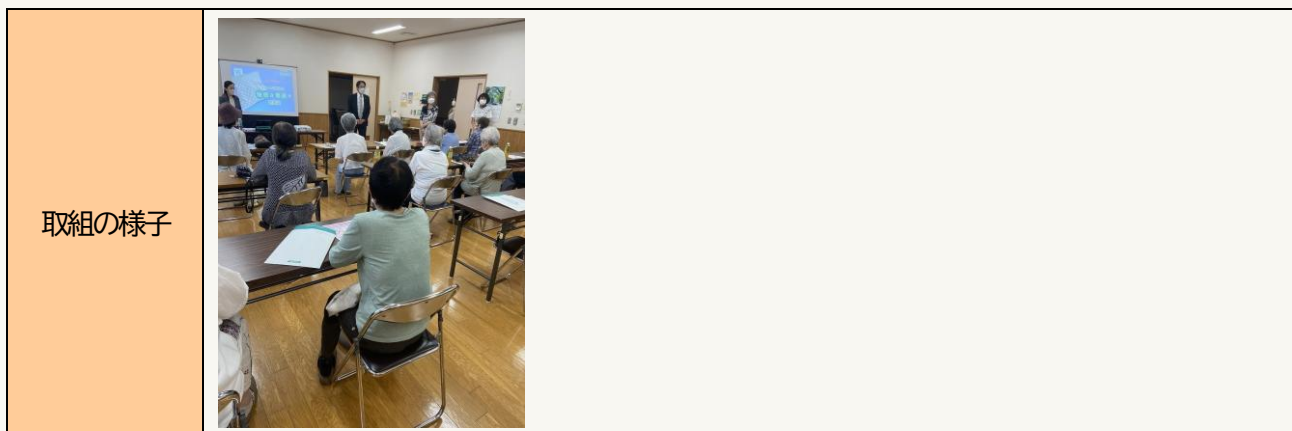
ノミネートNo.	19
----------	----

エントリー者	明治安田 健軍営業所 倉本 邦彦 様
--------	--------------------

取組事例名称	くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋 (桜木社協)
--------	----------------------------

連携団体名称	桜木校区社会福祉協議会
--------	-------------

事例概要	<ul style="list-style-type: none">・「地域力パワーアップ大作戦」にて、秋津まちづくりセンターを通じて、「桜木校区社会福祉協議会」さまより、「高齢者向けサロンで健康に関するイベントをしたい。」とお申し出がありました。・当社オリジナルの「MY講座」と「健康チェック機器」のご紹介をしたところ、「睡眠セミナー」と「血管年齢測定」および「ベジチェック」を実施することになりました。・当日は、会場の「桜木地域コミュニティセンター」に約20名ほど集まっていただきました。 約2時間のセミナーでは、くらしに役立つ睡眠と健康について社員が講話を実施しました。 <ul style="list-style-type: none">・最後には当社の健康チェック機器を使い「血管年齢測定」と「ベジチェック」を参加者の皆さまに体験していただきました。・参加者の皆さまからは、「睡眠の仕組みがわかり勉強になった」、「野菜不足がわかり料理メニューを改善したい」などの声をいただき、大変喜んでいただいたと思います。・今後もコミュニティセンターなどでのセミナーや健康チェックイベントを通じて、住民のみなさんの健康増進と地域の活性化に協力していければと思っています。
------	---



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 20

エントリー者 明治安田 健軍営業所 倉本 邦彦 様

取組事例名称 こども食堂（陽だまり）

連携団体名称 桜木東校区社会福祉協議会

事例概要
・桜木東校区社会福祉協議会の会長さまとご縁ができ、桜木東校区社会福祉協議会が実施する「こども食堂（陽だまり）」のお手伝いにも参加しました。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 21

エントリー者 ロアツソ熊本 濱崎 稜平 様

取組事例名称 東区民まつりで献血呼びかけ

連携団体名称 明治安田

事例概要 健軍商店街で開催された東区民まつりにて、明治安田様と連携し、献血の呼びかけを実施しました。ロアツソくんとロアツソ熊本の選手3名がアーケードを歩きながら献血を呼びかけ、多くの方にご協力いただきました。地域と企業の連携により、献血の大切さを市民の方々へ伝えました。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 22

エントリー者 ロアツソ熊本 濱崎 稜平 様

取組事例名称 ロアツソ熊本ホームゲームでのパフォーマンス

連携団体名称
HAPPY PerformerS☆

事例概要
東区を中心に年齢、性別、持って生まれた個性など関係なく、約80名が活動しているHAPPY PerformerS☆が、ロアツソ熊本のホームゲームにおいて、バトントワリング・ダンスパフォーマンスを行いました。約4,000人の大勢の観客の前でパフォーマンスを披露することで、地域の活動を活動をより多くの方に知ってもらう機会となりました。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	23
----------	----

エントリー者	ロアツソ熊本 濱崎 稜平 様
--------	----------------

取組事例名称	こども食堂支援プロジェクト
--------	---------------

連携団体名称	平田機工
	熊本県こども食堂ネットワーク
	ONN+ (秋津3町内地域コミュニティ食堂)

事例概要	<p>平田機工様、熊本県こども食堂ネットワーク様と連携し、こども食堂支援プロジェクトを実施しました。このプロジェクトでは、ロアツソ熊本のホームゲームで平田機工様がフードドライブを実施し、そこでご提供いただいた物資を秋津地区のこども食堂へ贈呈しました。また、こども食堂では、こどもたちと選手が食事や遊びを通じて交流を行いました。物価高騰など急激な経済状況の変化を受け、こども食堂に対するニーズが高まる中、この活動を通して、こども食堂の支援のみならず、地域とのつながりも深めることができました。</p>
------	---



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 24

エントリー者 肥後銀行秋津支店 廣瀬貴子 様

取組事例名称 熊本地震に被災した秋津地区の復興を後世に伝えたい

連携団体名称 秋津校区防災連絡会
熊本市東区役所 秋津まちづくりセンター

事例概要 平成 28 年に発生した熊本地震によって、熊本市最大の被災地となった秋津地区。当時の状況、困難にどう向き合い立ち直ったかを形にして、後世に伝えたいとの思いから、秋津地区防災連絡会にてボードを作成。秋津まちづくりセンターと協働し、震災後 10 年を迎える節目に、これまでの歩みを、当時を知らない人々に知ってほしいとの思いから、銀行支店内にポスターを掲示。

取組の様子

支援をありがとうございます。被災した私たちの体験を伝えます。

熊本市最大の被災地
秋津は学んだ

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 25

エントリー者 肥後銀行秋津支店 廣瀬貴子 様

取組事例名称 地域に深く携わる偉人を知ってほしい

連携団体名称 横井小楠顕彰会
熊本市東区役所 秋津まちづくりセンター

事例概要 横井小楠顕彰会の活動に賛同し、顕彰会が保有するグッズを支店内に掲示。横井小楠をよりよく知って頂く場所を提供。



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 26

エントリー者 miyuki art Labo 岩田美裕貴 様

取組事例名称 つくる×みせる こども表現プロジェクト
(アート×バトン)

連携団体名称 HAPPY PerformerS★

事例概要 東区で活動するアート教室とバトン教室がいっしょに、「つくる表現」と「みせる表現」をつなげた体験イベントを実施しました。アートワークショップでは、バトン教室の子どもたちが白い衣装に、好きな色をぬったり、手でパタパタしたり、線をかいたりして、自由に表現しました。「こうしなきゃいけない」はなく、子どもたちの感覚のままに自由に表現。そうしてできたのが、世界に一つだけのアート衣装です。できあがった衣装を着て、次に行ったのはプロフィール写真の撮影です。大会に出るときに使う写真を、子どもたちが自分で作った衣装で撮影しました。撮影場所は江津湖と健軍商店街。地域の景色の中で、子どもたちの表現がもっと光るようにしました。「作って終わり」ではなく、作ったものを着て、見せて、写真に残すところまでを一つの流れにしたことで、子どもたちは「自分の表現ってすごいんだ」と感じやすくなりました。商店街では、地域の方々が「かわいいね」「元気をありがとう」「きれいな色だね」と声をかけてくださり、自然に会話が生まれました。子どもの笑顔がひろがって、まわりの大人も笑顔になる。そんなふうに、子どもの表現が地域を明るくする取り組みとなりました。

【目的】
この企画の目的は、子どもたちが「自分の好き」「自分の表現」を大切にできる時間をつくることです。

そして、子どもの表現をきっかけに、保護者や地域の人々が「いいね」「すてきだね」と声をかけ合えるようにして、人と人がつながるきっかけを増やすことです。子どもが安心して表現できると、心が元気になって笑顔が増えます。その笑顔が、家族や地域にも広がっていく。そんな流れをつくることを目指しました。

【成果・反応】
イベントの中で、商店街の方や通りかかった方から「かわいいね」「元気をありがとう」「きれいな色だね」などの声が自然に生まれました。子どもたちの衣装や楽しそうな姿がきっかけになって、大人どうしの会話も増えました。子どもたちも「見てもらえてうれしい」「ほめてもらえた」と感じ、自信につながっている様子がありました。

【文化的処方につながる点】

本企画は、アート力で心を元気にし、人と人がつながるきっかけをつくる取り組みです。そのため、熊本市が進めたい「文化的処方」にもつながると考えています。今後は、イベントだけで終わらせず、地域の日常の中で、子どもや家族が気軽に参加できる形で継続し、子どもの笑顔が地域の元気につながる流れを広げていきたいです。

取組の様子



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	27
----------	----

エントリー者	株式会社 cozy relief 上村真理子 様
--------	--------------------------

取組事例名称	子どもの「ありがとうとえがお」を通貨にした 地域×企業協働型・感謝循環コミュニティ 「熊本こっぴの家」
--------	---

連携団体名称	株式会社ウォルト
	株式会社バランスネットワーク
	たかさみリフォーム
	株式会社エネルギーテクノサービス 有限会社時田工務店

事例概要	<p>熊本こっぴの家は、子どもたちが「お金」ではなく「ありがとうの手紙」を通貨にして駄菓子と交換する、地域発の新しいコミュニティです。</p> <p>背景には、</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの自己肯定感の低下・孤立する家庭や大人・企業の社会貢献が「一過性」で終わりがちな課題 <p>がありました。</p> <p>そこで私たちは、企業の協賛や寄付を原資に、地域に開かれた居場所をつくるという仕組みを構築しました。</p> <p>企業は「支援する側」、子どもは「支援される側」ではなく、</p> <p>子どもは“感謝を生み出す存在”として地域に価値を返し、企業はその循環を支える共創パートナーとして関わります。</p> <p>子どもたちは</p> <p>「今日は誰を笑顔にしたか」 「誰にありがとうを伝えたいか」 を考え、手紙に書くことで行動が変化し、 不登校だった子が学校に戻ったり、自己表現が苦手だった子が自ら言葉を紡ぐようになるなどの変化が生まれています。</p> <p>また、企業や地域の大人が子どもからの手紙を受け取ることで、働く意味や社会とのつながりを再認識するきっかけにもなっています。</p> <p>また地域の企業と体操教室やしめ縄作り、いろいろな教室も子どもたちが無料でできるきっかけ作りもしている。</p> <p>子どもの手段となる場所になっている。</p> <p>この「感謝が循環する仕組み」は、熊本に限らず他地域でも展開可能なモデルとして注目され、現在は全国展開も視野に入れた取り組みへと発展しています。</p>
------	--

取組の様子



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo. 28

エントリー者 秋津校区子ども会 奥村 敬介 様

取組事例名称 水鉄砲サバイバルゲーム in 健軍商店街

連携団体名称	健軍商店街振興組合
	秋津1町内子ども会
	秋津2町内子ども会
	秋津3町内子ども会
	秋津5町内子ども会





事例概要

今年初めて、秋津校区の子ども会合同の水鉄砲サバイバルゲームを企画しました。当初は、秋津まちづくりセンターの防災フェスタと同時開催で企画しましたが、雨予報だったため、残念ながら中止しました。しかし、関係者で、準備を進めていたため、このまま開催できないのは、もったいないと思い、秋津まちづくりセンターの職員さん、健軍商店街振興組合様、健軍夜市の関係者の皆様、市議会議員（山中市議）さん等に相談し、健軍夜市開催前の空き時間に、健軍商店街で開催させてもらえる運びとなりました。健軍商店街は、アーケードがあるため、雨を気にせずイベントが実施できる強みがあります。また、子どもたちに商店街での思い出を作ってもらうことで、商店街がより身近になります。併せて、参加賞として、「健軍夜市応援焼きそば」と「健軍ポテト」と交換できる引換券を購入し、子どもたちに配りました。そうすることで、場所を借りるだけでなく、夜市の賑わいにも貢献することができました。イベントに参加した子どもたちからは、「またやりたい」と大好評でした。近年減少が続く子ども会ですが、そこでしかできない地域資源を活かし、魅力ある取組みを企画することで、活性化は可能だと実感しました。ご協力いただいた関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。




HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	29
エントリー者	泉ヶ丘校区社会福祉協議会 濱部 純子 様
取組事例名称	健康ダーツ
連携団体名称	ダーツバーgrit (グリット) 出田代表 (※取組当時) 泉ヶ丘校区民生委員・児童委員協議会 (主催) 泉ヶ丘校区社会福祉協議会 (後援) 泉ヶ丘校区 6 町内老人会 泉ヶ丘校区 6 町内自治会
事例概要	<p>令和4年度、地域力パワーアップ大作戦での連携取組第1号として、主催：泉ヶ丘校区民生児童委員協議会、後援：泉ヶ丘校区社会福祉協議会・健軍商店街エリア「ダーツバーgrit(グリット)出田代表 (※取組当時)」で、高齢者・障がいを持った方・一人暮らしの方・老々世帯の方々と、ダーツバーでのふれあい交流サロンを実施しました。感染予防にも有効なオープンスペースになっている会場で、障がいを持った方も高齢者も参加できることから、コロナ禍における引きこもりの解消や参加者同士の活性化、ふれあい交流サロン活動の停滞解消、高齢者の脳の活性化・認知症予防などをねらったものです。地域力パワーアップ大作戦に参加したことで、これまでのふれあい交流サロンのプログラムの発想を転換できたことに感謝します。</p> <p>この活動が実現したことで、泉ヶ丘校区 6 町内自治会や町内・校区の老人会のほか、健軍東校区のサロンでも数多く実施されました。今ではダーツバーへの敷居が低くなり、孫や友人同士との交流も生まれ、高齢者の方々も楽しい憩いの場として生き生きと活動されていました。</p>
取組の様子	   

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	30
エントリー者	株式会社 Logro 古庄 健太 様
取組事例名称	猫の譲渡会を中心としたイベントの開催
連携団体名称	株式会社 Logro 地域猫活動ボランティア
事例概要	<p>普段はスケートボードやパルクール教室が行われている SSS 御領を活用して、地域猫の譲渡会を開催した。また、譲渡会だけでなく、野菜や雑貨等の販売や不動産相談ブースも設けて多くの方に来てもらう工夫を行った。結果、幅広い世代の方に来てもらうことができ、地域猫活動のことや、SSS 御領という場所を知ってもらうことができた。</p> <p>また、健軍商店街内にある学童教室である AfterSchool 学 Do! でも、地域猫の譲渡会を行った。こちらも譲渡会だけでなく、ワークショップなどを行うことで、子ども達も楽しめるように工夫をした。</p> <p>これらの活動を通して、多くの方に地域猫活動を知ってもらうこと、地域猫活動を通して、命の大切さを感じてもらうこと、一匹でも多くの保護猫の飼い主を見つけることに繋がった。</p>
取組の様子	




HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	31
エントリー者	ささえりあ江津湖 今村 和八 様
取組事例名称	おひさまカフェ 10周年記念イベント (9/20 江津しょうぶ苑)
連携団体名称	熊本県立大学 西森ゼミ・豆乳ヨーグルト 市社協東区事務所 認とも 東区福祉課 ささえりあ江津湖
事例概要	<p>皆様のおかげさまで平成27年9月から開催してきた「おひさまカフェ」の10周年の記念イベントにてe-スポーツを実施しました。県立大学の若い学生（豆乳ヨーグルト）さん達と一緒に太鼓の達人とボーリングを体験し運動と世代間交流にもなりました。</p> <p>また、認とも（認知症サポートリーダー）さんと福祉課の協力で、ロバ隊長のキーホルダー作りや東区認知症つどいの場の展示等を行い、「認知症月間」の啓発も行いました。</p> <p>(※おひさまカフェは江津しょうぶ苑・ウォークラン健軍・ささえりあ江津湖で共同開催しています)</p>
取組の様子	

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	32
エントリー者	ささえりあ江津湖 中村 淳美 様
取組事例名称	楽しい春のお出かけ講座 「上手なバスの乗り方・簡単スマホ講座」
連携団体名称	熊本都市バス ソフトバンク ささえりあ江津湖
事例概要	<p>長引くコロナ禍で外出の機会が減少している高齢者を対象に、バスを上手に使い、外出の機会を増やし、スマートフォンを使いこなし日々を楽しく過ごして頂くことも目的に、令和5年5月18日10時~12時広木公園に熊本都市バスの方に車両も来て頂き、</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「上手なバスの乗り方について」の講話 ソフトバンクの方に来て頂き、バスの中で2. 「簡単スマホ講座」の開催。 <p>あいにくの雨でしたが参加者15名、みなさん初めての体験にドキドキワクワク、楽しまれました。</p>
取組の様子	  

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	33
エントリー者	ささえりあ江津湖 今村 和八 様
取組事例名称	泉ヶ丘ふれあいまつり ※「健康まちづくりコーナー」
連携団体名称	熊本県立大学 総合管理学部 松本ゼミ 東区保健こども課 障がい者相談支援センターきらり 東部まちづくりセンター ささえりあ江津湖
事例概要	<p>コロナ禍を経て開催された泉ヶ丘ふれあいまつり（11/22 泉ヶ丘公園 主催：泉ヶ丘自治協議会）の中で、各団体と協働して「健康まちづくりコーナー」を実施した。県大の松本ゼミの皆さんは「健康増進かるた」を実施。かるたをしながら、かるたに応じた運動や生活のポイントを楽しく学んだ。また保健師による泉ヶ丘校区健康カルテの展示と健康シール調査を行い、幅広い世代と対話しながら、健康への興味関心の啓発を行った。</p> <p>今回、地域のまつりという楽しいイベントの中で、幅広い住民の方に、「健康まちづくり」を展開・啓発できた事、地域とコラボのパワーに感謝致します。</p>
取組の様子	

HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	34
----------	----

エントリー者	健軍校区社会福祉協議会 松瀬 美智子 様
--------	----------------------

取組事例名称	健軍各町内高齢者サロン
--------	-------------

連携団体名称	健軍校区社会福祉協議会
	明治安田新水前寺営業所
	ささえりあ江津湖

事例概要	<p>健軍校区では、健康のまちづくり・介護予防と自立支援、地域交流等を目的とした高齢者サロンを各町内で毎月開催している。今年は各町内サロンにて新たに明治安田による血管年齢測定・ベジタブルチェックを実施。参加者は楽しい雰囲気の中、自身の測定結果を一つの目安として、日頃の生活習慣と健康増進を改めて再認識するサロンとなりました。</p> <p>(1町内 9/8 2町内 5/21 3町内 4/23 5町内 7/16)</p>
------	--



HIGASHIKU MACHIZUKURIAWARD 2025



ノミネートNo.	35
----------	----

エントリー者	おちゃいち山陽堂 有働貴 様
--------	----------------

取組事例名称	お茶屋さんで認知症カフェ (グループホーム泉ヶ丘×おちゃいち山陽堂×東区福祉課)
--------	---

連携団体名称	グループホーム泉ヶ丘
--------	------------

事例概要	グループホームに入居されている方々を対象に、茶話会の様な形でお茶を飲みながら当事者同士の新たな交流の場を形成。地域に古くから関わりがある方にとっては懐かしく、遠方からの方からは新鮮に。また、認知症というナイーブな問題に対しても街の店舗が行う事でフランクな雰囲気に対応する事が実現できました。
------	---

